

施策評価シート （評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 市政参画の促進	② 施策番号	1309
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	6 みんなでまちづくりに取り組むまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 市民が力をあわせるとともに、行政とともにまちづくりに取り組む参画と協働のまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1 市民参画・協働の推進		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総合政策部	政策推進課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市内外の市民
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	寄附行為を通じ、ふるさと泉南のまちづくりに参画していただく。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	ふるさと納税制度の趣旨を逸脱する取組が多々あり、それを抑制するための法及び制度改正が行われたところである。今後に関しては新たな制度に沿った、返礼率の厳守や地場産品の取扱いなどを遵守する取り組みが強く求められる。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 寄附金額(単年) 計算式	千円	寄附行為によりまちづくりに参画いただくとしているため、わかりやすい指標といえる。
② 寄附件数(単年) 計算式	件	寄附行為によりまちづくりに参画いただくとしているため、わかりやすい指標といえる。
③ 計算式		

指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
① 寄附金額(単年)	千円	目標値	100,000	150,000	150,000	200,000	200,000	H26年度、H28年度及びR元年度に制度を改正。
		実績値	144,143	132,625	476,056	—	—	
		達成率	144.1%	88.4%	317.4%			
② 寄附件数(単年)	件	目標値	10,000	13,000	11,000	11,000	11,000	H30年度から件数カウント方法を変更。
		実績値	12,375	9,282	42,835	—	—	
		達成率	123.8%	71.4%	389.4%			
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価		今後の方向性
1	ふるさと寄附推進事業	寄付金額	千円	132,625	476,056	200,000	69,577	233,006	107,675	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						69,577	233,006	107,675			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	ふるさと応援寄附制度を通じ、市民がより市政に参画しやすい環境を作ることで、市民が地域や社会に主体的に関わる機会を広げる。 また、まちづくりには、地域の特色を生かすことが重要である。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	指標からは、新たな制度の下での取り組みによる事業効果が出てきている。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	本市の地元事業者の参画を得て返礼品の送付を行うことで地域経済の発展に寄与しており、官民の役割分担等の関わり方は成功している。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	現時点では、適正。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	まちづくりへの参画を促すとともに、貴重な財源となりうるふるさと応援寄附金の獲得を最優先でめざす。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	本市にとって貴重な財源となる寄附金の増加のためには、ふるさと納税制度の趣旨を逸脱することなく、さらなる飛躍を果たす取組や事業展開が急務である。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	広く泉南市をPRするため、情報発信ツールを効果的に活用する。 また、寄附金の使い道をより明確化し、まちづくりに活用できるよう適切な手法を検討する。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	地場製品の新たなラインナップを目指すとともに、参加型、体験型の返礼品の開発・発掘を行う。
中長期的対応 (3~5年をめどに取り組む改善案)	ふるさと納税制度を通じて、まちの活性化、地域経済の発展を図り、その原資をまちづくりに活用する好循環行政を目指す。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	成果指標である寄附金額、件数ともに向上しており、寄附行為を通じた市政参画への取組は適切に行われている。 制度を取り巻く状況に適切に対応しつつ、寄附者の増加に向けた取組を引き続き進められたい。	